

赤潮被害防止対策緊急調査事業

【142百万円】

対策のポイント

カレニア・ミキモトイの越冬海域に関する情報等の新たな知見を得るため、緊急に、この冬季中、豊後水道において広域的かつ集中的に一斉調査を実施し、次の夏季での赤潮による漁業被害の軽減を図ります。

<背景／課題>

- ・平成24年6月下旬から7月下旬にかけて、宇和海、豊後水道等で大規模なカレニア・ミキモトイによる赤潮が発生し、養殖魚介類に多大な被害が発生しました。
- ・カレニア・ミキモトイについては、現時点では本種に関する知見は十分に蓄積されておらず、赤潮の初期発生海域の特定が非常に困難な状況となっています。
- ・このため、カレニア・ミキモトイに関する知見を蓄積し、初期発生海域の特定を可能とすることで、次の夏季において、赤潮の発生・増殖の防止や的確な予測により漁業被害の軽減を図ることが必要です。

政策目標

カレニア・ミキモトイの調査を広域的かつ集中的に実施し、来夏の赤潮被害を軽減

<主な内容>

赤潮被害防止対策緊急調査事業

142百万円

カレニア・ミキモトイの越冬海域に関する情報等の新たな知見を得るため、緊急に、この冬季中、豊後水道において、カレニア・ミキモトイの越冬細胞分布調査と海洋環境調査（水塊等）を広域的かつ集中的に実施します。

（補助率：委託
事業実施主体：民間団体等）

[お問い合わせ先：水産庁漁場資源課（03-6744-2379（直））]